

第 5 回検討委員会摘録
第 5 回京都会館再整備検討委員会

日 時 平成 1 8 年 3 月 2 3 日 (木) 午前 1 0 時 ~ 正午

場 所 京都会館 第 1 会議室

出席者 (五十音順 , 敬称略)

今西勝	株式会社ナウエストワン代表取締役社長
齊藤武夫	財団法人京都市音楽芸術文化振興財団専務理事
鈴置雄三	株式会社サウンドクリエイター代表取締役社長
田中宏美	市民公募委員
段塚崇子	市民公募委員
ばんばひろふみ	歌手
中原昭哉 (会長)	元京都女子大学教授
細井康雄	社団法人京都音楽文化協会理事長
松隈洋	京都工芸繊維大学助教授
水口重忠	京都市文化市民局文化部長

欠席者 (五十音順 , 敬称略)

青柳敏雄	京都市都市計画局公共建築部長
田坪良次 (副会長)	大阪人間科学大学教授 , 京都市立芸術大学名誉教授

配布資料

- ・ 次第
- ・ 「京都会館再整備の基本的な方向性に関する意見書 (素案)」

議 事

1 開会

2 意見交換

(1) 「京都会館再整備の基本的な方向性に関する意見書」について

「 1 はじめに」から「 4 今後の京都会館のあるべき姿」までについて

【今西委員】

- ・ 第 2 ホールに関しては , 定員数の 100 席くらいの上下があっても興行的な問題はないと思う。問題は第 1 ホールである。

【鈴置委員】

- ・ 第1ホールの客席幅拡張と同時に、定員数が現状に近い数が維持されることが大前提であることを付け加えていただきたい。矛盾しているようだが、最低限2,000人以上というのは維持していただきたい。

【松隈委員】

- ・ 抽象的な言い方になるが、建築を専門とする立場からすると“たたずまい”のようなイメージを大切に言葉を入れて欲しい。京都会館の魅力は周囲に醸し出す雰囲気だと思う。そのことがあまり触れられていないように思う。再整備に際しては、外部空間も是非テーマにして欲しい。

(2) 「京都会館再整備の基本的な方向性に関する意見書」について

「5 京都会館再整備の方向性」について

【鈴置委員】

- ・ 資料を見るうえで、2,000席、1,000席の大小ホールを持つ理想的なホールを京都に造るということは、この立地では誰が議論しても無理であるということになると思う。音楽業界としては、京都に理想的なホールを生み出したかったが無理だったと主張したことを残したい。
- ・ 本当に第1、第2、会議場を残した再整備が必要かという問題があるのではないか。欲張りすぎではないか。稼動していない会議場をやめる方法もある。
- ・ 本当に理想的なホールを造るのであれば、京都市内のどこでも良い。1,000席では駅前であっても興行は来ない。2,000席であれば、京都会館の立地でも興行は十分できる。
- ・ レストランに人がたくさん入り、収益が高まるというにぎわいは無理だと思う。京都会館という規模、エリアでは難しい。会議室よりは子ども図書館の方が、人が来るというレベルのにぎわいであれば理解できる。
- ・ 最近整備された新しい会館には託児所がある。託児所的なものをにぎわい創出機能から外して、付帯設備としてホール機能の充実に入れて欲しい。

【田中委員】

- ・ どう考えてもC案は無理で、A案、B案で考えるべきと書いてあるように見える。ここで議論してもC案は無理なように思える。

【段塚委員】

- ・ 来ていただいた顧客がまた来たくなるような施設、託児所等はそうだと思う。それでもっと京都会館に行きやすくなるということが重要ではないか。
- ・ 市民が利用する率が高く、一般の方が発表する場にもなっているが、家族連れで来る場合には足りない部分がある。来場者支援機能や市民交流機能が必要ではないか。

【ばんば委員】

- ・ 総合評価を見ると、全く更地にして建替えをするのは不可能というように見える。最初はここで建替えて欲しいという考えだった。その意見を残して欲しい。
- ・ にぎわいで言えば、会館だけで考えるべきではない。岡崎全体のエリア開発を考えるべき。

【松隈委員】

- ・ 京都会館という建物自体に愛着を持って訪れる人もたくさんいるのではないかと思う。

- ・ 会議室をやめて子ども図書館にするなど、興行的なものではなくて公益性の高い新しい機能を入れることでも、にぎわいが成立すると思う。

【水口委員】

- ・ 事務局としては、法的にさまざまな問題があることは承知で、当初からC案もあげている。再整備にあたっては、建替えも含めて議論を尽くす必要があると考えている。

(3) 「京都会館再整備の基本的な方向性に関する意見書」について

「6 再整備に当たって留意すべき事項」について

【鈴置委員】

- ・ 閉館期間は、どんなに短くても1年はかかると思う。経験的にも中規模施設でも半年程度必要だった。京都会館の代替は京都コンサートホールくらいしかない。その期間の特例として、京都コンサートホールでロックも可としていただけたらありがたい。

3 閉会

A案, B案, C案

再整備の方向性についての案であり, A案: 建物内部の改修, B案: 一部増築を伴う改修, C案: 全面建替えを示す。